

## 第2学年 道徳科学習指導案

1. 主題 しぜんに親しむ (D-(18)自然愛護)
2. 教材 「ダンゴムシのまるちゃん」
3. 主題設定の理由

低学年の時期は、身近な自然の中で楽しく遊んだり、生き物と親しんだりする活動を行うことが多い。また、生活科の学習でも、自然や生き物と直接触れ合う多くの体験をしている。だからこそ、身近な生き物に対して、どのような気持ちで接していけばよいかを考えさせ、生き物の立場に立って接していこうとする思いやりの心を育てていく必要がある。

本学級の児童は、自然や生き物が好きで、生き物を見つけると嬉しそうに教師のところへ報告に来たり、「飼いたい」といって飼育を始めたりする。一方で、虫や生き物を育てた経験がない子も多く、正しい飼育方法を知らないまま世話をしたり、むやみに生き物を触ったりして、生き物を弱らせてしまうことがあった。そこで、今回の授業を通して、自分本位ではなく、生き物の気持ちを考えて接し、生き物を大切にしたいという心情を育てていきたい。

本教材は、「わたし」がダンゴムシのまるちゃんを飼育するなかで、まるちゃんの気持ちを考えて飼育する大切さに気づいていく話である。生活科「生き物となかよくなるう」で、生き物の飼育を始めた子どもたちにこの教材と出会わせていく。主人公が身勝手に世話をする場面と、生き物の気持ちを考えて世話をする場面の、2つの場面を比較して、まるちゃんの気持ちが違っているのはなぜかを問いかけ、生き物の気持ちを考えて世話をすることで生き物もうれしい気持ちになることに気づかせていきたい。

### 4. 本時の学習活動

| 時間 | 学習活動と子どもの思い  | 学びを支える手だて   |
|----|--|---|
|    | <p><b>ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身の回りの生き物を思い浮かべて、生き物の気持ちを考えて世話をしたり、やさしい心で接したりして、生き物となかよくなりたいという思いをもったりすることができる。</li> </ul>   |   |
| 0  | <p>1. 生き物を育てた経験を思い出し、出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬を飼っているよ。すごくかわいい。</li> <li>・西田川で捕まえたイソハゼのハーちゃんを世話しているよ。えさを毎日あげているよ。</li> </ul>  | <p><b>手だて① -(ア)</b></p> <p>生活科の取り組みを想起できるように、これまでの生活の学びの足跡を学級に掲示する。</p>   |
| 5  | <p>2. 範読を聞き、「わたし」の気持ちについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「ゆうえん地みたいな家がいいな。」と言ったときのわたし</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうえん地は楽しいから、まるちゃんも喜ぶはず。</li> <li>・ゆうえん地なら広いし、たくさん遊べるよね。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「よるこんでくれるといいな。」と言った時のわたし</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まるちゃん、喜ぶといいなあ。</li> <li>・まるちゃんが好きなことを、もっと知りたいな。</li> </ul> | <p><b>手だて③ -(イ)</b></p> <p>まるちゃんのことを考えている「わたし」の思いに気づけるように「ゆうえん地みたいな家がいいな。」「まるちゃん、よるこんでくれるといいな」と言った2つの場面のわたしの気持ちを役割演技で考えさせる。</p> |
| 25 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">どっちのまるちゃんが、うれしそうかな？</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まるちゃんは、キャベツが好きだから2つ目の方がうれしいと思うよ。遊園地は嫌だと思ふ。</li> <li>・はじめは自分の好きな家だったけど、最後はまるちゃんのことを考えてごはんをあげていたよ。</li> </ul>  | <p><b>手だて③ -(イ)</b></p> <p>まるちゃんの気持ちを考えて世話をするようになったわたしの変化に気づけるように「どうしてまるちゃんの気持ちはちがうのかな？」と問い返す。</p>                              |
| 35 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">今までは生き物を、どんな風にお世話していたかな？</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メダカのメダちゃんを育てているよ。今までついたり指で追いかけてたりして遊んでいたけど、本当はうれしくなかったかもしれないな。</li> </ul>   | <p><b>手だて③ -(イ)</b></p> <p>自分事として考えさせるために、これまで飼育した生き物や自分の飼育方法について考える時間を設定する。</p>  |
|    | <p>3. 振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでは、ハゼの気持ちを考えてなかったな。これからは、ハゼちゃんが喜ぶように、石の隠れ家のあるおうちを作って、もっと仲良くなりたいな。</li> </ul>   | <p><b>手だて⑤ -(イ)</b></p> <p>生き物の気持ちを考えて、具体的なかかわり方を書いている子を指名する。</p>   |
|    | <p><b>評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたし」の考えの変化を話し合うことを通して、生き物の気持ちを考えて世話をしたり、やさしい心で接したりして、生き物となかよくなりたいという思いをもつことができたか。(発言、振り返り用紙より)</li> </ul>  |   |

